

## 平成26年度社会福祉法人ひらた福社会現況報告

### 【総括】

私どもは、今年度も社会福祉法人として公益事業を実施するという使命を果たしてまいりました。

障がい者福祉事業については、計画事業を着実に実行すると共に報酬改定への対策も講じてまいりました。また、高齢者介護事業についても、計画どおりに実施してまいりました。同時に、事業実施のもととなる人材の育成とそのための待遇の改善を実施しました。このことで持続的・安定的な法人経営を推し進めることができました。

それぞれ三事業所の事業成果の概要について、「エルパティオ三葉園」は一定の利用者を事業所等への就職につなげ、作業支援や生活相談を実施することで利用者の自立生活への支援が達成できました。

「生活介護事業所・相談支援事業所プレーグ」の生活介護事業は、リハビリや生活訓練など生活支援を実施してまいりました。相談支援事業は、事業の拡充により、障がい児を含む様々な相談を受け付け、適正なサービスに繋げることができました。また、サービス等利用計画作成を計画どおり進めることで、利用者の生活の質を高める支援をすることができました。

特に両施設は、平田地域、斐川地域及び出雲北東部において、サービス利用希望者の増加が続き、両施設とも拡充あるいは増設の必要が高まる中で、その対応策としての両施設の機能を併せ持った複合施設の計画を固めました。

「在宅福祉事業所」は、引き続き同業他者の参入及び看護師をはじめ人材不足などの影響により経営は厳しく推移しました。また、次年度の介護保険法改正による介護報酬の減額改定が確実な中、現事業の他事業への転換を含めた見直し及び施設の老朽化対策を含めて検討を行いました。